

横浜創英大学
令和 5 年度
学校推薦型入学試験
総合型選抜入学試験
試験問題・解答例

科 目

- 1 基礎総合（学校推薦型入学試験 I 期）
- 2 基礎総合（学校推薦型入学試験 II 期）
- 3 基礎総合（総合型選抜入学試験 I 期）
- 4 基礎総合（総合型選抜入学試験 II 期）

令和5年度
横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

学校推薦型入学試験（第Ⅰ期）

基礎総合

令和4年11月14日（日）

（注意事項）

1. 「始め」の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答には、HB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後30分間は退場できません。30分を経過して退場するときは、静かに手をあげて試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子と解答用紙はすべて回収します。

受 験 番 号

N					
---	--	--	--	--	--

氏 名

--

問題 I

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適当なものを、下の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。

(好井裕明 「他者を感じる社会学 差別から考える」から。一部表記を改めたところがある。)

- ① 今では若い男性が育児をすることは特別なことではなくなっているようであるが、こうした状況によって前時代的なジェンダーの理念が打破される可能性がある。
- ② 以前ほど「イクメン」という言葉が日常で聞かれなくなったようであるが、こうした変化が因習的なジェンダーを持続させてしまうことに注意を払うべきである。
- ③ 最近では男性による子育てが当然の営みであるように思われているが、こうしたあたりまえの意識は伝統的なジェンダーを崩壊させてしまう危険性をはらんでいる。
- ④ 最近の若い男性があたりまえのように子育てに協力している姿を見かけるが、こうした無自覚な行動が新たなジェンダー規範を生み出していくことに注目したい。
- ⑤ 最近ではことさら「イクメン」などと呼ぶ必要もなくなってきた男性の育児であるが、保守的なジェンダーの価値を突き崩すには微細なひびにしかない。

(2) 次の1～4の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣いで書きなさい。

- 1 人跡未踏の地。
- 2 読書三昧の毎日。
- 3 前例に倣う。
- 4 交通の要衝。

(3) 次の1～4の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- 1 代表選手としてカツヤクする。
- 2 看護の知識をチクセキする。
- 3 大学の授業をチョウコウする。
- 4 国宝の仏像をハイカンする。

(4) 次のア～オの漢数字を用いる慣用句やことわざ、熟語の□に入る漢数字の和として正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア 早起きは□文の徳
イ 石の上にも□年
ウ □人寄れば文殊^{もんじゅ}の知恵
エ □者^{ていりつ}鼎立
オ 大山鳴動して鼠^{ねずみ}□匹

- ① 12
- ② 13
- ③ 14
- ④ 15
- ⑤ 16

(5) 次のア～オの慣用句とその意味の組合せのうち、慣用句の意味が誤っているものが二つある。誤っている記号の組合せを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア 機が熟す — 物事を始めるのにちょうどよい時となる。
イ 濡^ぬれ手で粟^{あわ} — 名人でも、ときには失敗することがある。
ウ 目を見張る — たいへん忙しく、あわてふためく。
エ 地団駄^{じたんだ}を踏む — ひじょうにくやしがるたとえ。
オ 相好を崩す — 顔をほころばせて大いに笑うさま。

- ① ア、ウ
- ② ア、オ
- ③ イ、ウ
- ④ イ、エ
- ⑤ エ、オ

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

- (1) ある大学には、テニス、フットサル、バレーボールの三つのサークルがある。この大学の学生にサークルの加入状況を調査したところ、結果は次の(ア)～(ウ)のとおりであった。この結果から、テニス、フットサル、バレーボールの三つのサークルのすべてに加入している学生の数、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

(ア) テニスサークルに加入している学生は65人だった。また、テニスサークル又はフットサルサークルに加入している学生は103人だった。

(イ) フットサルサークルにもバレーボールサークルにも加入している学生は24人だった。

(ウ) フットサルサークルにだけ加入している学生は15人だった。

- ① 1人
- ② 5人
- ③ 9人
- ④ 14人
- ⑤ 19人

- (2) 一定の規則に従って並んでいる次の数列の第19項の値と第35項の値の差を、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

数列 1, 4, 7, 10, 13, 16, 19, 22, 25, 28...

- ① 16
- ② 32
- ③ 48
- ④ 64
- ⑤ 72

- (3) 4辺の長さが、それぞれ24m、30m、42m、48mの四角形の土地の周囲に、杭をできるだけ少なく等間隔に打つときに必要な杭の本数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。ただし、四角形の頂点には必ず杭を打つものとします。

- ① 20本
- ② 24本
- ③ 30本
- ④ 36本
- ⑤ 40本

(4) 濃度5.0%の食塩水900gに水を加えて、濃度3.6%の食塩水をつくりたい。何gの水を加えればよい
か、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 200g
- ② 250g
- ③ 300g
- ④ 350g
- ⑤ 400g

(5) 希望者全員にワクチンを接種するのに、看護師Aが一人で行うと240分、看護師Bが一人で行う
と180分、看護師Cが一人で行うと360分、それぞれ時間を要する。希望者全員に看護師A、B、C
が共同でワクチンを接種するときに要する時間を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 48分
- ② 56分
- ③ 64分
- ④ 72分
- ⑤ 80分

問題Ⅲ

設問 次の問題文及び表1～表3は、厚生労働省の「令和3年簡易生命表の概況」から作成したものである。問題文及び表1～表3を見て、あとの各問いに答えなさい。

【問題文】

令和3年の男の平均寿命(0歳の平均余命のこと。以下同じ)は81.47年、女の平均寿命は87.57年となり前年と比較して男は0.09年、女は0.14年下回っている。平均寿命の男女差は、6.10年で前年より0.05年縮小している。また、主な年齢の平均余命をみると、男女とも全年齢で前年を下回っている。

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女とも(ア)、肺炎、交通事故などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働いているが、老衰、(イ)などの死亡率の変化が平均寿命を縮める方向に働いている。

生命表上で、出生者のうちちょうど半数が生存すると期待される年数を寿命中位数といい、令和3年においては、男(ウ)年、女(エ)年となっている。平均寿命と比べ、男は2.92年、女は2.85年上回っている。

【表1】主な年齢の平均余命

(単位：年)

年 齢	男			女		
	令和3年	令和2年	前年との差	令和3年	令和2年	前年との差
0歳	81.47	81.56	△0.09	87.57	87.71	△0.14
10歳	71.70	71.78	△0.08	77.78	77.93	△0.15
20歳	61.81	61.90	△0.09	67.87	68.01	△0.14
30歳	52.09	52.18	△0.09	58.03	58.17	△0.13
40歳	42.40	42.50	△0.09	48.24	48.37	△0.13
50歳	32.93	33.04	△0.11	38.61	38.75	△0.14
60歳	24.02	24.12	△0.11	29.28	29.42	△0.14
70歳	15.96	16.09	△0.13	20.31	20.45	△0.14
80歳	9.22	9.34	△0.12	12.12	12.25	△0.13
90歳	4.38	4.49	△0.11	5.74	5.85	△0.12

(注1) 表章記号の「△」は、減少数(率)を示す。

(注2) 掲載の数値は四捨五入して記載していることから、これらの数値の四則演算結果が対応する数値と合わない場合がある。

※上記の(注1)及び(注2)は、表2及び表3においても同様である。

【表2】平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数(令和3年)

(単位：年)

死 因	男	女	死 因	男	女
計(前年との差)	△0.09	△0.14	肝疾患	0.00	△0.00
結核	0.00	0.00	腎不全	△0.01	△0.00
悪性新生物(腫瘍)	0.04	0.02	老衰	△0.03	△0.08
糖尿病	0.00	△0.00	不慮の事故	0.02	0.01
高血圧性疾患	0.00	0.00	交通事故(再掲)	0.04	0.04
心疾患(高血圧性を除く)	△0.01	△0.01	自殺	△0.00	△0.02
脳血管疾患	0.00	0.02	その他	△0.17	△0.12
大動脈瘤及び解離	0.00	△0.00	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)等(再掲)	△0.10	△0.07
肺炎	0.04	0.04			
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.00	△0.00			

【表3】寿命中位数と平均寿命の年次推移

(単位：年)

和 暦	男			女		
	寿命中位数	平均寿命	寿命中位数と平均寿命の差	寿命中位数	平均寿命	寿命中位数と平均寿命の差
昭和30年	69.79	63.60	6.19	74.19	67.75	6.44
昭和35年	70.66	65.32	5.34	75.44	70.19	5.25
昭和40年	72.00	67.74	4.26	77.04	72.92	4.12
昭和45年	73.10	69.31	3.79	78.19	74.66	3.53
昭和50年	75.31	71.73	3.58	80.17	76.89	3.28
昭和55年	76.69	73.35	3.34	81.75	78.76	2.99
昭和60年	78.06	74.78	3.28	83.38	80.48	2.90
平成2年	79.13	75.92	3.21	84.71	81.90	2.81
平成7年	79.49	76.38	3.11	85.73	82.85	2.88
平成12年	80.74	77.72	3.02	87.41	84.60	2.81
平成17年	81.56	78.56	3.00	88.34	85.52	2.82
平成22年	82.60	79.55	3.05	89.17	86.30	2.87
平成27年	83.76	80.75	3.01	88.79	86.99	2.80
令和2年	84.51	81.56	2.95	90.55	87.71	2.84
令和3年	84.39	81.47	2.92	90.42	87.57	2.85

- (1) 5 ページの問題文中の (ア) ～ (エ) にあてはまる最も適切な語句又は数値を、次の語群 A ～ Hの中から選び記号で答えなさい。

<語群>	A. 糖尿病	E. 84.39
	B. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 等	F. 87.57
	C. 肝疾患	G. 81.47
	D. 悪性新生物〈腫瘍〉	H. 90.42

- (2) 次の (ア) ～ (オ) の文について、表1～表3から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。

- (ア) 令和3年の60歳の男の平均余命は、24.02年である。
 (イ) 令和3年の寿命中位数の男女差は、6.03年である。
 (ウ) 平成13年に0歳であった男の令和3年の平均余命は、61.81歳である。
 (エ) 表2から心疾患（高血圧性を除く）の死亡率の変化は、男女ともに平均寿命を延ばす方向に働いている。
 (オ) 令和3年の平均寿命は、昭和30年と比較すると男女ともに15年以上延びている。

(基礎総合 おわり)

令和5年度 横浜創英大学
学校推薦型入学試験(第Ⅰ期)
基礎総合 解答例

問題Ⅰ	(1)	①							
	(2)	1	みとう	2	ざんまい	3	なら		
		4	ようしょう						
	(3)	1	活 躍	2	蓄 積	3	聴 講		
		4	拝 観						
	(4)	②							
(5)	③								
問題Ⅱ	(1)	①							
	(2)	③							
	(3)	②							
	(4)	④							
	(5)	⑤							
問題Ⅲ	(1)	(ア)	D	(イ)	B	(ウ)	E	(エ)	H
	(2)	(ア)、(イ)、(ウ)、(オ)							

令和5年度
横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

学校推薦型入学試験（第Ⅱ期）

基礎総合

令和4年12月11日（日）

（注意事項）

1. 「始め」の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答には、HB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後30分間は退場できません。30分を経過して退場するときは、静かに手をあげて試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子と解答用紙はすべて回収します。

受 験 番 号

N					
---	--	--	--	--	--

氏 名

--

問題 I

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適当なものを、下の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。

(白戸圭一 「はじめてのニュース・リテラシー」 から。)

- ① 市民が一方的にマスメディアから情報を得ていた時代と違い、今は市民同士のSNSによる情報とジャーナリズムによる情報のどちらが正しいかを見極めなければならなくなっている。
- ② SNSの急速な普及によって、市民と情報の関係が大きく変化した、市民が情報の受け手から情報の送り手となっている事実を学生に教えていく必要が出てきている。
- ③ 民主主義の発展には、政治権力からの情報にだまされないことが必要だが、市民が思慮のない情報を発信することで政治権力の世論誘導に荷担しないことが重要となってきた。
- ④ 大学では、情報を得る際に不利益を被らないことを目的として講義を行ってきたが、他人や社会に被害を与えないように情報を発信する能力も教えていかなければならなくなっている。
- ⑤ 大学生への講義の目的として、マスメディアからの情報の虚実が鑑別できること以上に、個人から発せられた情報にだまされないようにすることの必要性を痛感している。

(2) 次の1～4の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣い^{げんだいか なづか}で書きなさい。

- 1 大仏殿を建立する。
- 2 有識者に諮問する。
- 3 羨望のまなざしで見る。
- 4 未曾有の規模の災害が発生した。

(3) 次の1～4の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- 1 アンノンに暮らす。
- 2 作物のシュウカクキを迎えた。
- 3 ツウシンモウが整備されている。
- 4 友人の病気がカイユした。

(4) 次のア～オの漢数字を用いる慣用句やことわざ、熟語の（ ）に入る漢数字の和として正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア 白髪（ ）丈
イ（ ）の足を踏む
ウ 天は（ ）物を与えず
エ 鶴の（ ）声
オ（ ）載（ ）遇

- ① 1007
- ② 1106
- ③ 2006
- ④ 3007
- ⑤ 4006

(5) 次のア～オのうち、下線をつけた漢字の読み方が同じものの組合せが三つある。読み方が同じものの記号の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア 人為的な要因 — 日本語の語彙
イ 原稿を校閲する — 国歌を斉唱する
ウ 蓋然性が高い — 感慨深い
エ 出藍の誉れ — 美術品を鑑定する
オ 凡例を示す — 湖畔を散歩する

- ① ア、イ、オ
- ② ア、ウ、エ
- ③ ア、ウ、オ
- ④ イ、ウ、エ
- ⑤ イ、エ、オ

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

- (1) 一定の規則に従って並んでいる次の数列の $\boxed{A}$ と $\boxed{B}$ の値の積を、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

数列 $32, -16, 8, -4, 2, -1, \boxed{A}, -\frac{1}{4}, \frac{1}{8}, \boxed{B}, \frac{1}{32}, -\frac{1}{64}, \dots$

- ① $\frac{1}{16}$
- ② $-\frac{1}{32}$
- ③ $-\frac{1}{16}$
- ④ $\frac{1}{32}$
- ⑤ $-\frac{1}{8}$

- (2) 濃度4.0%の食塩水600gに水を加えて、濃度3.0%の食塩水をつくりたい。何gの水を加えればよいか、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 200g
- ② 250g
- ③ 300g
- ④ 350g
- ⑤ 400g

- (3) 赤い球が8個、青い球が6個、白い球が6個入っている袋から同時に3個の球を取り出すとき、3個とも赤い球である確率を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① $\frac{1}{285}$
- ② $\frac{2}{285}$
- ③ $\frac{7}{285}$
- ④ $\frac{11}{285}$
- ⑤ $\frac{14}{285}$

(4) ある大学の学生食堂では、1セット380円の定食A、450円の定食B、500円の定食Cを販売している。ある日のこの学生食堂の定食A、B、Cの売上額合計は82,450円で、定食Aの売上額は24,700円であった。また、3種類の定食は合計で185セットを売り上げた。この日に売り上げた定食Cのセットの数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 60セット
- ② 65セット
- ③ 70セット
- ④ 75セット
- ⑤ 80セット

(5) ある大学の看護学部の1年生93人に取得を希望する看護師以外の資格や免許を調査したところ、保健師資格の取得を希望すると答えた学生が35人、養護教諭免許の取得を希望すると答えた学生が15人いた。そのうち、保健師資格と養護教諭免許の両方の取得を希望していると答えた学生が8人いた。保健師資格と養護教諭免許のどちらも取得を希望していない学生の数、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 47人
- ② 49人
- ③ 51人
- ④ 53人
- ⑤ 55人

問題Ⅲ

設問 次の問題文及び図1～図3は、「神奈川県保健医療計画（第7次 平成30年度～令和5年度）」から作成したものである。問題文及び図1～図3を見て、あとの各問いに答えなさい。

【問題文】

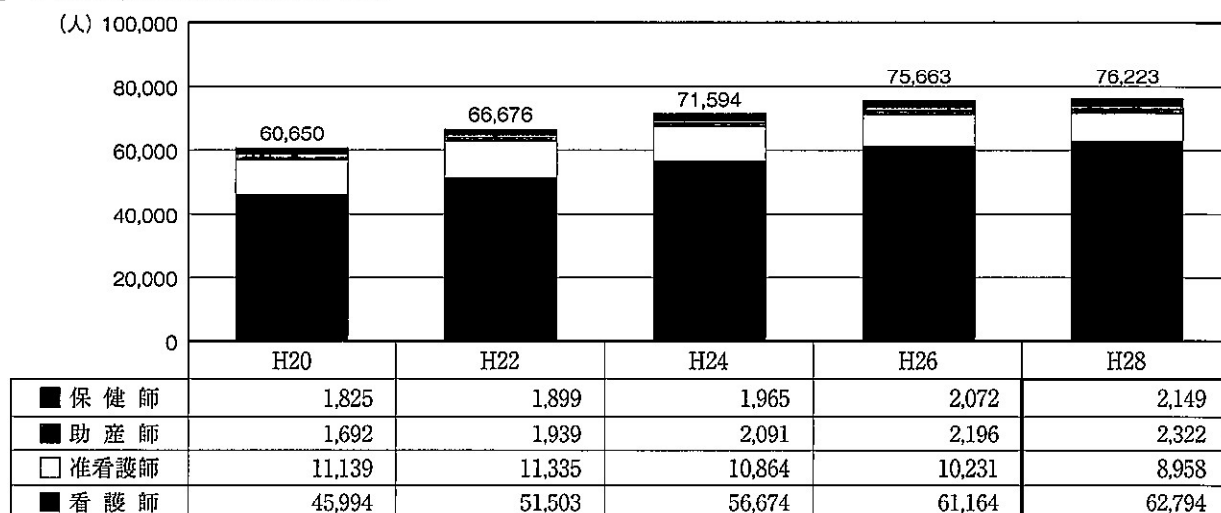
本県の看護職員数は年々増加し、平成28年12月現在で76,223人となっています。しかしながら、人口10万人当たりの看護師数は、全国の905.5人に対し、本県は686.6人（全国45位）と全国平均を（ア）います。

就業場所別の看護職員数を見ると、病院が50,521人（66.3%）、診療所が12,549人（16.5%）、介護保険施設等が5,768人（7.6%）となっています。

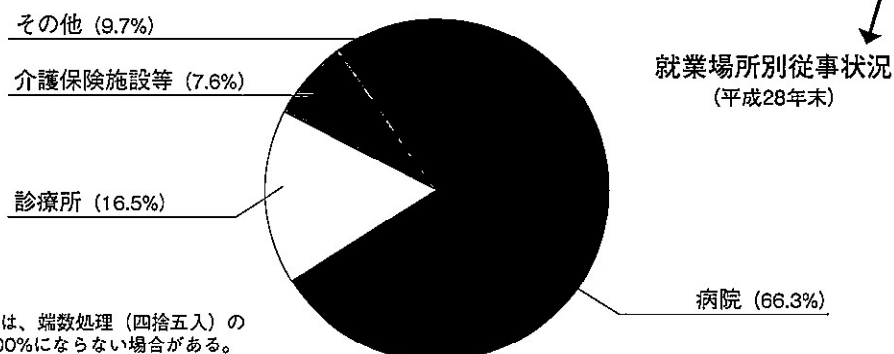
県内の看護師の養成数は年々増加しています。入学定員は、平成25年度は2,655人でしたが、平成29年度には3,365人と710人増となっています。また、平成29年度の学校別入学定員は、大学が12校で（イ）人、短期大学が3校で240人、専門学校が28校で2,045人です。

本県の看護職員全体の離職率は近年（ウ）%前後で推移しており、全国平均を（エ）います。県ナースセンターでは、未就業看護師等の再就業支援などに取り組んでおり、無料職業紹介による就職者数は656人（平成28年度実績）となっています。

【図1】 神奈川県の看護職員数の推移

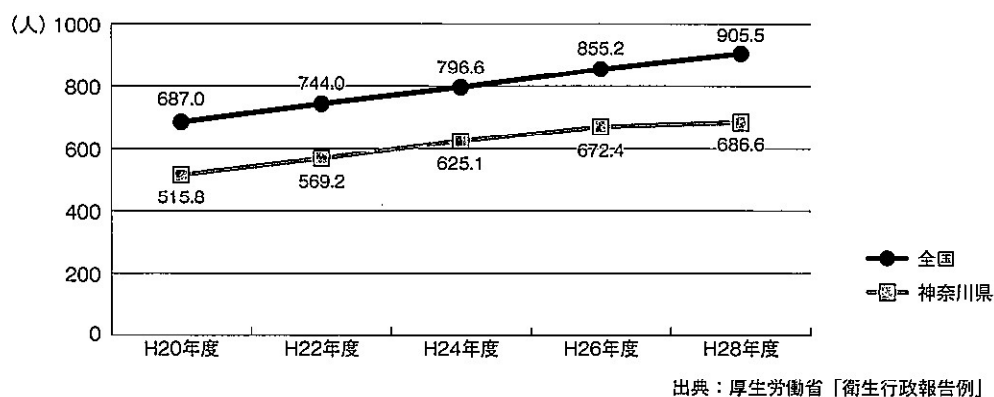


出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

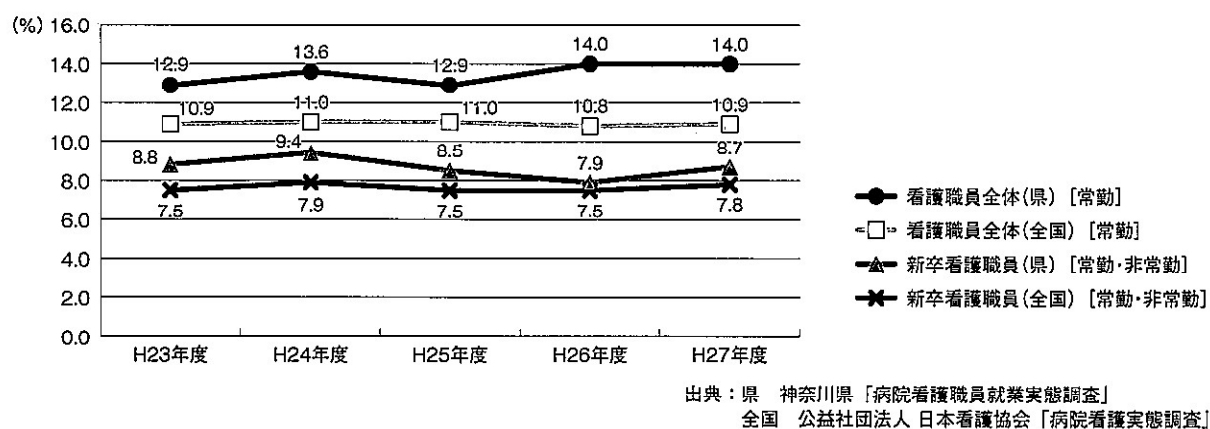


※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

【図2】人口10万人当たりの看護師数の推移



【図3】看護職員 離職率の推移



(1) 前のページの問題文中の(ア)～(エ)にあてはまる最も適切な語句または数値を、次の語群A～Hから選び記号で答えなさい。なお、同じ記号を何度でも使用することができます。

- <語群>
- | | |
|---------|---------|
| A. 増加して | E. 8 |
| B. 上回って | F. 13 |
| C. 減少して | G. 370 |
| D. 下回って | H. 1080 |

(2) 次の(ア)～(オ)の文について、問題文及び図1～図3から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。

- (ア) 神奈川県の看護職員の約3分の2が病院に就業している。
 (イ) 神奈川県では、看護師の養成数が一番多いのは専門学校であると推定できる。
 (ウ) 神奈川県の看護職員のうち助産師と准看護師は、減少している。
 (エ) 平成28年度における人口10万人当たりの看護師数の全国と神奈川県との差は、平成20年度からみると拡大している。
 (オ) 新卒看護職員の離職率は、全国、神奈川県ともに看護職員全体の離職率を下回っている。

(基礎総合 おわり)

令和5年度 横浜創英大学
 学校推薦型入学試験(第Ⅱ期)
 基礎総合 解答例

問題Ⅰ	(1)	④							
	(2)	1	こんりゅう(けんりつ)	2	しもん	3	せんぼう		
		4	みぞう						
	(3)	1	安 穩	2	収 穫 期	3	通 信 網		
		4	快 癒						
	(4)	⑤							
	(5)	③							
問題Ⅱ	(1)	②							
	(2)	①							
	(3)	⑤							
	(4)	④							
	(5)	③							
問題Ⅲ	(1)	(ア)	D	(イ)	H	(ウ)	F	(エ)	B
	(2)	(ア)、(イ)、(エ)、(オ)							

令和5年度
横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

総合型選抜入学試験（第Ⅰ期）

基礎総合

令和4年9月11日（日）

（注意事項）

1. 「始め」の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 「始め」の指示があったら、解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答には、HB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後30分間は退場できません。30分を経過して退場するときは、静かに手をあげて試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題用紙と解答用紙はすべて回収します。

受 験 番 号

N					
---	--	--	--	--	--

--

問題 I

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適当なものを、下の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。

(読売新聞 令和4年6月19日朝刊(山中伸弥寄稿)から。)

- ① 遺伝性疾患の治療に役立つゲノムの編集技術は、次世代への悪影響や優生学への傾倒といった不安もあり、ゲノム編集技術が両刃の剣であることを認識しなければならない。
- ② 遺伝子を自由に書き換える技術が急速に進歩し、遺伝性疾患の治療に応用することも可能となったが、次世代に影響を及ぼさないように症状を軽減する必要がある。
- ③ 科学技術の発展は人間の遺伝子の解読を推し進めたが、負の歴史である優生学に学ぶことができれば、遺伝子の書き換え技術は誤りであることが理解できる。
- ④ 人間の設計図の書き換えといった科学技術は病気の改善以外にも応用可能だが、歴史の教訓を正しく生かすことで、人間の優れた形質を選び残すことも可能となる。
- ⑤ ゲノム編集技術の応用方法には議論の余地が残されており、遺伝子の書き換えで社会が誤った方向に進まないようにするには、歴史の教訓を生かすことが肝心である。

(2) 次の1～4の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣い^{げんだいか なづか}で書きなさい。

- 1 山頂を極める。
- 2 風情のある住まい。
- 3 身を粉にして働く。
- 4 丹精して育てた花。

(3) 次の1～4の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- 1 交渉がナンコウする。
- 2 血液がギョウコする。
- 3 願いをジョウジュした。
- 4 発言のハイケイを考える。

(4) 次のア～オの漢数字を用いる熟語の組合せのうち、 $\boxed{A}$ 及び $\boxed{B}$ に入る漢数字について、 $\boxed{A} < \boxed{B}$ の関係が成り立つものが三つある。 $\boxed{A} < \boxed{B}$ の関係が成り立つ記号の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

ア	二人 $\boxed{A}$ 脚	$\boxed{B}$ 面楚歌
イ	一日 $\boxed{A}$ 秋	一朝 $\boxed{B}$ 夕
ウ	$\boxed{A}$ 穀豊穰	四 $\boxed{B}$ 時中
エ	$\boxed{A}$ 転八起	三寒 $\boxed{B}$ 温
オ	$\boxed{A}$ 客万来	千差 $\boxed{B}$ 別

- ① ア、イ、オ
- ② ア、ウ、エ
- ③ ア、ウ、オ
- ④ イ、ウ、エ
- ⑤ イ、エ、オ

(5) 次のア～オのことわざや慣用句の組合せのうち、AとBが同じような意味をもつ組合せとなっているものを、一つ選び記号で答えなさい。

ア	$\left[\begin{array}{l} A \text{ 弘法は筆を選ばず} \\ B \text{ 猿も木から落ちる} \end{array} \right]$	エ	$\left[\begin{array}{l} A \text{ 二兎を追う者は一兎をも得ず} \\ B \text{ 虻蜂捕らず} \end{array} \right]$
イ	$\left[\begin{array}{l} A \text{ 口は禍の元} \\ B \text{ 禍福は糾える縄の如し} \end{array} \right]$	オ	$\left[\begin{array}{l} A \text{ 瓢箪から駒が出る} \\ B \text{ 覆水盆に返らず} \end{array} \right]$
ウ	$\left[\begin{array}{l} A \text{ 他山の石} \\ B \text{ 他人の空似} \end{array} \right]$		

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

- (1) 縦5 cm、横8 cm、高さ4 cmの直方体の箱を同じ向きにすき間なく積み上げて立方体を作るとき、必要な箱の最小数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 160
- ② 240
- ③ 320
- ④ 400
- ⑤ 480

- (2) 一定の規則に従って並んでいる次の数列の空欄に入る数字として適当なものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

数列 100, 98, 94, 86, 70, 38, -26, -154, , -922...

- ① -410
- ② -442
- ③ -478
- ④ -526
- ⑤ -554

- (3) あるクラスの英語の試験の平均点は62点で、男子の平均点は56点、女子の平均点は66点であった。このクラスの生徒数は35人で全員が試験を受けた。このクラスの女子の人数を、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 24人
- ② 21人
- ③ 18人
- ④ 14人
- ⑤ 11人

(4) 食塩水A 200gと食塩水B 500gを混ぜ合わせて濃度7.0%の食塩水700gをつくった。食塩水Aが濃度5.0%のとき食塩水Bの濃度を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 7.8%
- ② 7.9%
- ③ 8.0%
- ④ 8.1%
- ⑤ 8.2%

(5) 0, 1, 2, 3, 4, 5の6個の数字のうちから4個を選んで4桁の自然数をつくると、何通りの自然数ができるか、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。なお、同じ数字を重複して選ぶことができるものとします。

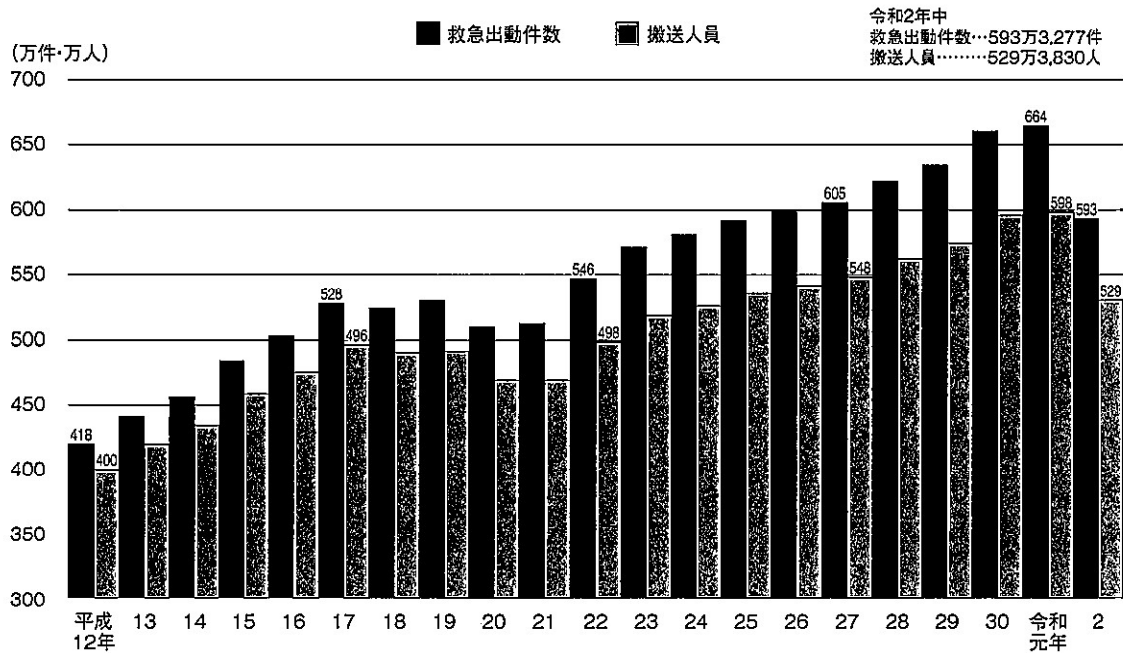
- ① 256通り
- ② 625通り
- ③ 900通り
- ④ 1080通り
- ⑤ 1296通り

問題Ⅲ

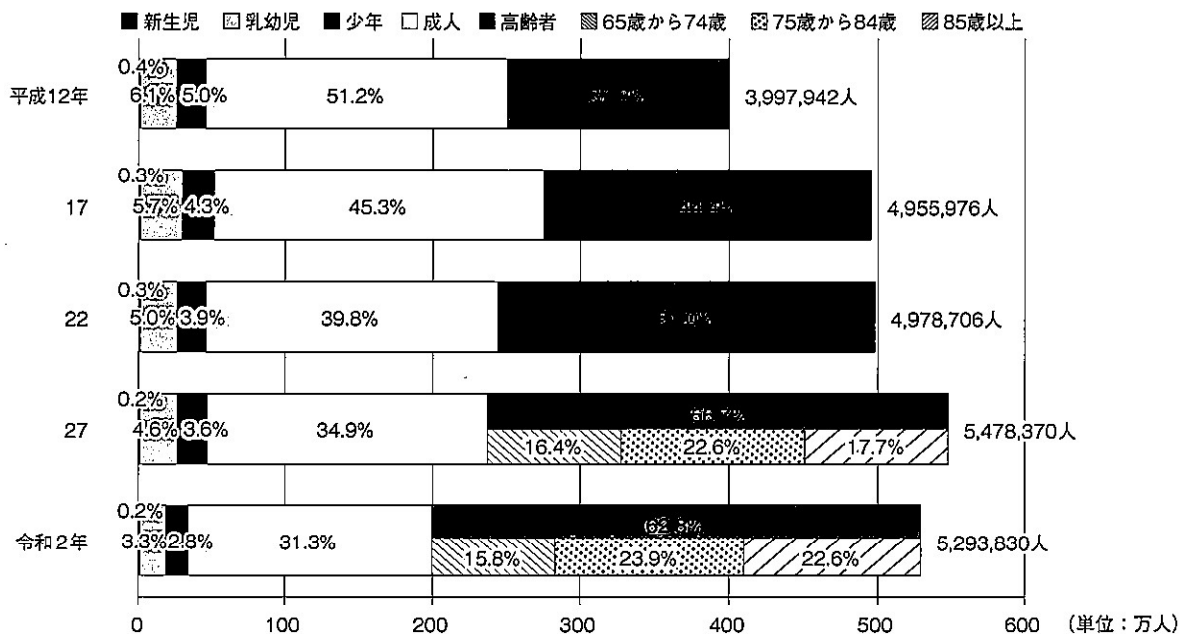
設問 次の図1～図3は、総務省消防庁の「令和3年版 救急・救助の現況」から作成したものである。

図1～図3を見て、あとの各問いに答えなさい。

【図1】救急自動車による救急出動件数及び搬送人員の推移



【図2】年齢区分別の搬送人員と5年ごとの構成比の推移



1 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

2 年齢区分の定義

新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

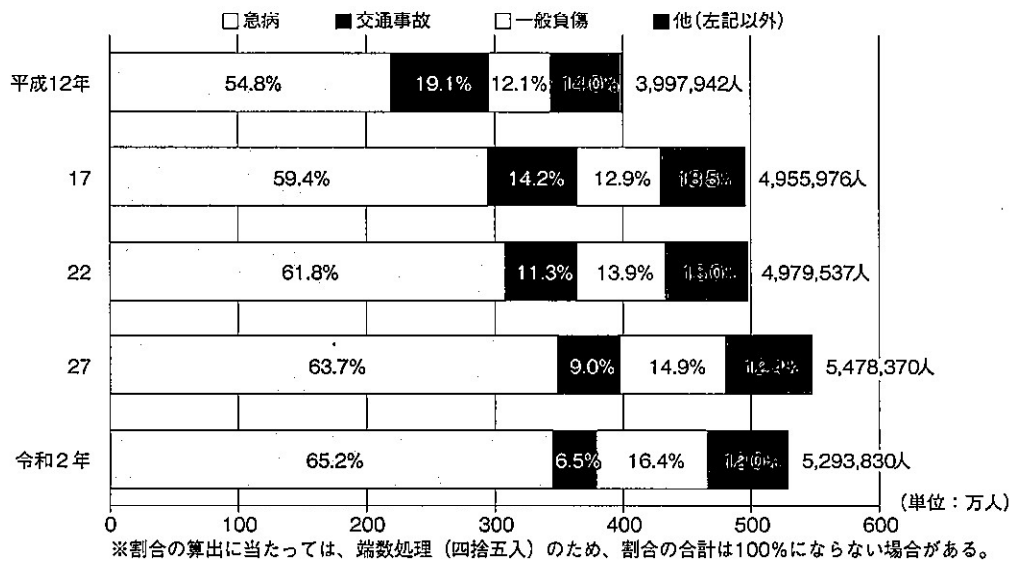
高齢者：満65歳以上の者

ア 65歳から74歳 満65歳以上満75歳未満の者

イ 75歳から84歳 満75歳以上満85歳未満の者

ウ 85歳以上 満85歳以上の者

【図3】 事故種別の搬送人員と5年ごとの構成比の推移



- (1) 次の文中の(ア)～(エ)にあてはまる最も適切な語句または数値を、下の語群A～Hから選び記号で答えなさい。

令和2年中の救急自動車による救急出動件数は593万3,277件(対前年比70万6,490件減、10.6%減)、搬送人員は529万3,830人(対前年比68万4,178人減、11.4%減)で、救急出動件数、搬送人員ともに(ア)年ぶりに減少した。救急自動車は約5.3秒に1回の割合で出動し、国民の約(イ)人に1人が搬送されたことになる。

救急自動車による搬送人員の内訳を年齢区分別にみると、高齢者が329万8,803人(62.3%)、成人が165万5,061人(31.3%)、乳幼児が17万7,317人(3.3%)などとなっている。年齢区分別の搬送人員の構成比の推移をみると、(ウ)の搬送割合が増加している。

救急自動車による搬送人員の内訳を事故種別ごとにみると、急病が約345万1,872人(65.2%)、一般負傷が86万6,529人(16.4%)、交通事故が34万2,250人(6.5%)などとなっている。事故種別ごとの搬送人員の構成比の推移をみると、急病と(エ)は増加している一方で、交通事故は減少している。

- <語群> A. 12 B. 24 C. 34 D. 60
E. 成人 F. 一般負傷 G. 高齢者 H. 乳幼児

- (2) 次の(ア)～(オ)の文について、図1～図3から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。

- (ア) 平成12年から救急自動車による搬送人員は、増加し続けている。
(イ) 救急自動車による救急出動件数が500万件を超えたのは、平成16年である。
(ウ) 令和2年の高齢者の搬送人員は、平成12年の高齢者の搬送人員の2倍以上である。
(エ) 令和2年の救急自動車の出動件数は、1日当たり16,000件以上である。
(オ) 令和2年の交通事故による搬送人員は、平成12年の交通事故による搬送人員の2分の1以下である。

(基礎総合 おわり)

令和5年度 横浜創英大学
 総合型選抜入学試験(第Ⅰ期)
 基礎総合 解答例

問題Ⅰ	(1)	⑤											
	(2)	1	きわ		2	ふぜい		3	こ				
		4	たんせい										
	(3)	1	難 航		2	凝 固		3	成 就				
		4	背 景										
	(4)	③											
	(5)	エ											
問題Ⅱ	(1)	④											
	(2)	①											
	(3)	②											
	(4)	①											
	(5)	④											
問題Ⅲ	(1)	(ア)	A		(イ)	B		(ウ)	G		(エ)	F	
	(2)	(イ)、(ウ)、(エ)、(オ)											

令和5年度
横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

総合型選抜入学試験（第Ⅱ期）

基礎総合

令和4年10月9日（日）

（注意事項）

1. 「始め」の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら、解答冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答には、HB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後30分間は退場できません。30分を経過して退場するときは、静かに手をあげて試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題冊子と解答用紙はすべて回収します。

受 験 番 号

N					
---	--	--	--	--	--

氏 名

--

問題 I

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適当なものを、下の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。

(正高信男「自粛するサル、しないサル」から。一部表記を改めたところがある。)

- ① 日本で感染拡大防止のための特別措置法が改正された際に罰則規定が導入されなかったのは、戦争を起こしてはならないという市民の意志が尊重されているからである。
- ② 感染拡大防止のための規制に従わないことに対するヨーロッパの厳しい罰則の導入は、居住する都市が戦争になると兵士として戦うことが市民に求められた伝統に根拠がある。
- ③ 自分の暮らす都市が戦争状態に突入したときに市民も戦闘に参加しなければならないという伝統は、ヨーロッパにおける市民の資格に関する議論を呼び起こすことになった。
- ④ ヨーロッパにおける都市住民の個人の人権問題は、行政による感染拡大防止のためのさまざまな規制を市民が受け入れることの是非を問う余地すら奪ってしまった。
- ⑤ ロックダウンをはじめとするヨーロッパにおける感染拡大防止のためのさまざまな規制は、個人の人権は無条件に尊重されるものではないという市民の承諾が必要であった。

(2) 次の1～4の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣い^{げんだいか なづか}で書きなさい。

- 1 人込みに紛れ込む。
- 2 珍重に値する品。
- 3 額から汗が滴る。
- 4 含蓄に富む文章。

(3) 次の1～4の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- 1 病気がショウコウ状態を保つ。
- 2 新作をヒロウする。
- 3 カンヨウな態度をとる。
- 4 植物の苗をイショクする。

(4) 次のア～オの漢数字を用いる熟語の組合せのうち、(A)と(B)に入る漢数字の積が12となるものが三つある。(A)と(B)の積が12となる記号の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- | | |
|------------------------------|------------|
| ア (A) 花繚乱 ^{りょうらん} | (B) 触即発 |
| イ (A) 方八方 | 二束 (B) 文 |
| ウ (A) 古不易 | (B) 騎当千 |
| エ (A) 法全書 | (B) 律背反 |
| オ (A) 意専心 | 十干 (B) 支 |

- ① ア、イ、オ
- ② ア、ウ、エ
- ③ ア、ウ、オ
- ④ イ、ウ、エ
- ⑤ イ、エ、オ

(5) 次のア～オの慣用句とその意味の組合せのうち、慣用句の意味が誤っているものが二つある。誤っている記号の組合せを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ア 気が置けない | － 気を許せず、油断できない。 |
| イ 灯台下暗し ^{もと} | － 手近の事情はかえってわかりにくいものである。 |
| ウ 釈迦 ^{しゃか} に説法 | － よく知っている人が知らない人に教えること。 |
| エ 後ろ髪を引かれる | － 未練が残り、思いを断ち切ることができない。 |
| オ 横車を押す | － 道理に反することを無理にする。 |

- ① ア、ウ
- ② ア、オ
- ③ イ、ウ
- ④ イ、エ
- ⑤ エ、オ

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

- (1) ある大学の看護学部の学生40人に希望の進路を尋ねたところ、大学病院を希望すると答えた学生が18人、公立病院を希望すると答えた学生が13人いた。そのうち、大学病院と公立病院の両方を希望していると答えた学生が6人いた。大学病院と公立病院のどちらも希望していない学生の数、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 3人
- ② 9人
- ③ 11人
- ④ 15人
- ⑤ 22人

- (2) 次の数字はある規則に基づいて配列されている。列の に入る数字として適当なものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

4, 6, 10, 14, 22, 26, 34, 38, , 58, 62...

- ① 42
- ② 44
- ③ 46
- ④ 50
- ⑤ 52

- (3) 学園祭で1パック330円の焼きそばと1パック410円のたこ焼きを合わせて95パックを売ったところ、総売上額は35,030円であった。売れた焼きそばのパックの数を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

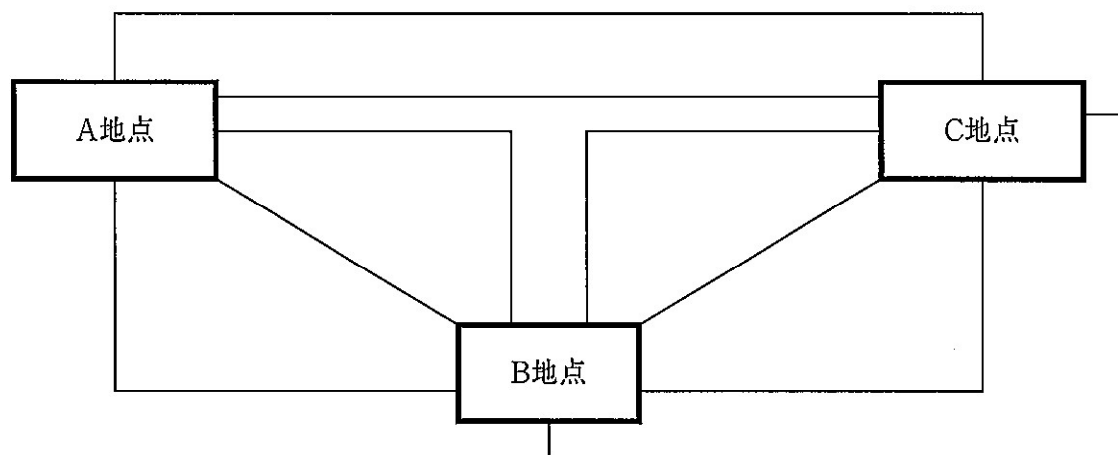
- ① 32パック
- ② 37パック
- ③ 42パック
- ④ 45パック
- ⑤ 49パック

(4) 濃度7.0%の食塩水700gに水を加えて、濃度4.0%の食塩水をつくりたい。何gの水を加えればよいか、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 500g
- ② 525g
- ③ 550g
- ④ 575g
- ⑤ 600g

(5) 次の図のような道がある。この図のA地点からB地点を通ってC地点まで行く経路は何通りあるか、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

【図】



- ① 12通り
- ② 13通り
- ③ 14通り
- ④ 15通り
- ⑤ 16通り

問題Ⅲ

設問 次の問題文及び表1～表3は、神奈川県「かながわ健康プラン21（第2次）」（平成25年3月（令和3年10月一部改訂））から作成したものである。問題文及び表1～表3を見て、あとの各問いに答えなさい。

【問題文】

健康寿命とは、「ある健康状態で生活することが期待される平均的期間」のことです。本県では、健康寿命を表す数値として「日常生活に制限のない期間の平均」を用い、また、参考値として「自分が健康であると自覚している期間の平均」※1と「日常生活動作が自立している期間の平均（以下「平均自立期間」※2という。）」を表記しています。

また、平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある期間を意味します。

この日常生活に制限のある期間は、医療や介護等が必要となることから、特に個人の生活の質の低下を防ぐようにする必要があります。

本県の健康寿命は、平成22年、平成25年では男女ともに全国平均より（ア）、平成28年は全国平均と比べ男性は（ア）、女性は（イ）になっています。

本県の平成（ウ）年の平均寿命と健康寿命の差＝日常生活に制限のある期間は、男性が全国と比べて差が大きく、女性は全国よりも差が小さい状況です。

男性は女性に比べると、平均寿命と健康寿命の差である日常生活に制限のある期間が短い状況にあります。

また、健康寿命の参考値としている「自分が健康であると自覚している期間の平均」は、本県は男女ともに全国よりも（エ）になっています。

もう一方の参考値である本県の「平均自立期間」は、男女とも全国に比べて長く、男性は女性より短い状況です。

※1

「自分が健康であると自覚している期間の平均」：3年ごとに実施される国民生活基礎調査の質問「あなたの現在の健康状態はいかがですか」に対する「よい」「まあよい」「ふつう」という回答を「健康」と捉えて、その結果と生命表を用いて算定しています。

※2

「平均自立期間」：介護保険の認定で「要介護2以上」を「不健康」と捉えて、介護保険データを用いて算定します。健康寿命の補完的指標としての活用が適切といわれていることから、「かながわ健康プラン21（第2次）」においても参考値として示しています。「平均自立期間」を算定する際の基点となる年齢には「0歳」と「65歳」があります。参考値2では「0歳」を基準年齢としています。

【表1】平成22年の「平均寿命」と平成22・25・28年の「健康寿命」

(単位：年)

		男 性			女 性		
		平成22年	平成25年	平成28年	平成22年	平成25年	平成28年
神奈川県	平均寿命	80.36			86.74		
	健康寿命	70.90	71.57	72.30	74.36	74.75	74.63
	差	9.46			12.38		
全 国	平均寿命	79.64			86.39		
	健康寿命	70.42	71.19	72.14	73.62	74.21	74.79
	差	9.22			12.77		

【表2】(参考値1) 平成22・25・28年「自分が健康であると自覚している期間の平均」

(単位：年)

		男 性			女 性		
		平成22年	平成25年	平成28年	平成22年	平成25年	平成28年
神奈川県		70.85	72.25	73.08	74.12	75.76	75.93
全 国		69.90	71.19	72.31	73.32	74.72	75.58
差		0.95	1.06	0.77	0.80	1.04	0.35

【表3】(参考値2) 平成22・25・28年「平均自立期間」

(単位：年)

		男 性			女 性		
		平成22年	平成25年	平成28年	平成22年	平成25年	平成28年
神奈川県		78.78	79.26	79.98	83.28	83.58	83.91
全 国		78.17	78.72	79.47	83.16	83.37	83.84
差		0.61	0.54	0.51	0.12	0.21	0.07

- (1) 5 ページの問題文中の (ア) ～ (エ) にあてはまる最も適切な語句または数値を、次の語群 A ～ H から選び記号で答えなさい。なお、同じ記号を何度でも使用することができます。

<語群> A. 22 B. 25 C. 28 D. 長く
 E. 短く F. 大きく G. 同じに H. 小さく

- (2) 次の (ア) ～ (オ) の文について、表1～表3から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。

- (ア) 神奈川県の健康寿命は、男女ともに平成22年よりも平成28年の方が長くなっている。
 (イ) 「平均自立期間」は、「自分が健康であると自覚している期間の平均」より長い。
 (ウ) 神奈川県の女性の健康寿命は、平成22年から伸び続けている。
 (エ) 「自分が健康であると自覚している期間の平均」は、男性よりも女性の方が長い。
 (オ) 平成28年の神奈川県の「平均自立期間」の男女の差は、3.93年である。

(基礎総合 おわり)

令和5年度 横浜創英大学
総合型選抜入学試験(第Ⅱ期)
基礎総合 解答例

問題Ⅰ	(1)	②											
	(2)	1	まぎ		2	ちんちょう		3	したた				
		4	がんちく										
	(3)	1	小 康		2	披 露		3	寛 容				
		4	移 植										
	(4)	⑤											
(5)	①												
問題Ⅱ	(1)	④											
	(2)	③											
	(3)	⑤											
	(4)	②											
	(5)	①											
問題Ⅱ	(1)	(ア)	D		(イ)	E		(ウ)	A		(エ)	D	
	(2)	(ア)、(イ)、(エ)、(オ)											